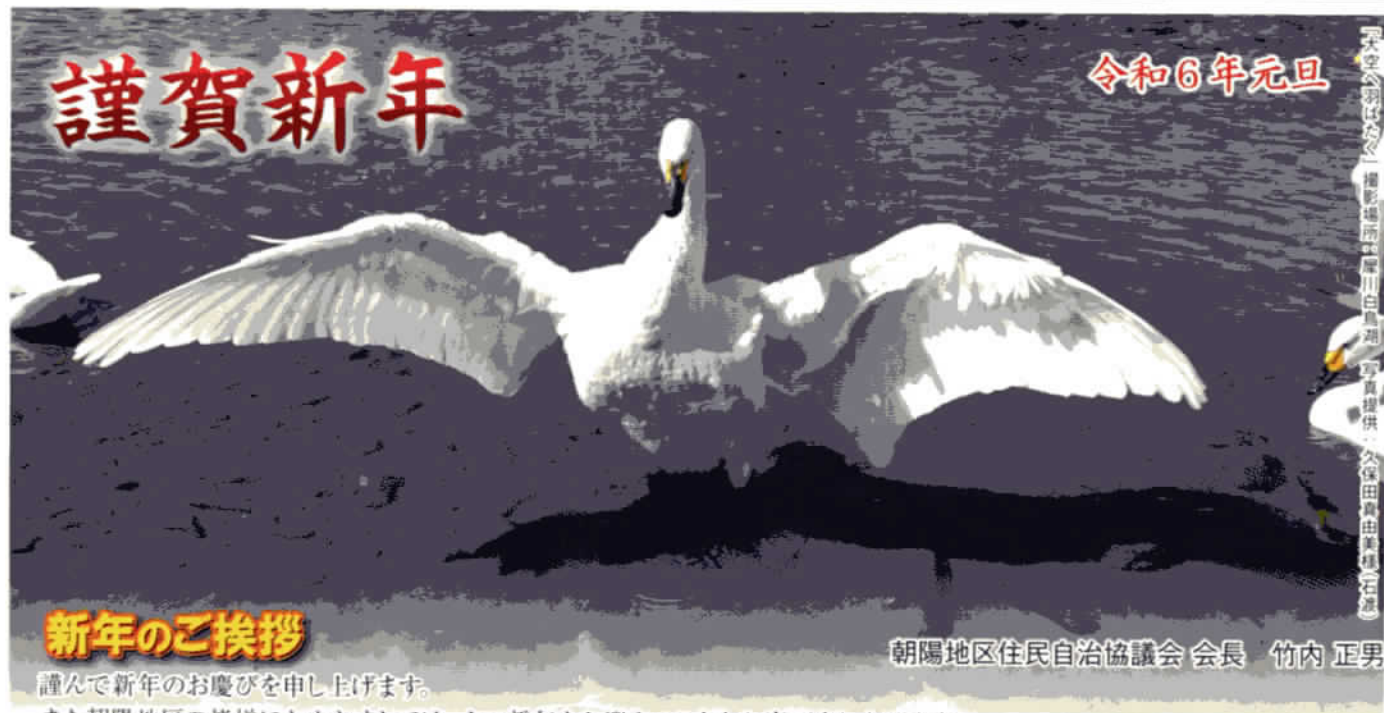




輝くあさひ

第 66 号

発行 朝陽地区住民自治協議会
 会長 竹内正男
 編集 広報部 会
 印刷 株式会社 双真



新年のご挨拶

朝陽地区住民自治協議会 会長 竹内正男

謹んで新年のお慶びを申し上げます。

また朝陽地区の皆様におかれましては、よい新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は新型コロナ感染も一段落し、自治協議会また各区の事業もコロナ前同様に行われてきました。あさひふるさと祭り・敬老会・戦没者等追悼式・球技大会等、特にあさひ・ふるさと祭りは大変な盛況でした。

また昨年度は荻原市長・関係部長にお越し頂いて「ながの未来トーク」を開催することができました。当地区の要望事項等忌憚のない意見交換ができ、ご理解をいただけたと思います。

さて令和5年は世界的な温暖化の影響から長野市でも30度以上の真夏日が連続53日となり大幅な記録更新となりました。令和6年も決して安心できる気象になるとは限りませんが、十分心していただきたいと思います。

住自協役員一同諸事業を推進して参りますのでご理解ご協力をお願い申し上げます。

新春にあたり区民の皆様方のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

<新年のご挨拶>

朝陽支所長 中村 元昭

謹んで新年のお慶びを申し上げます。朝陽地区住民自治協議会関係者をはじめ地区の皆様には、日頃より、行政運営にご理解、ご協力を賜り心から厚くお礼申し上げます。

昨年は、5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが5類に移行し、朝陽地区においても各種活動や行事等が徐々に再開されました。感染状況等を見極めながら再開に向けご尽力いただきました皆様、これまで様々な制約がありながらも、感染防止対策等に配慮しつつ地域活動、福祉活動を継続していただいた皆様にご心より敬意と感謝を申し上げます。

各種行事等の再開に当たっては、開催されなかった期間が長かったため、細かな手順等が分からなくなってしまったなど多くのご苦勞があったとお聞きしております。一方で、各地区で再開されたお茶のみサロンやはつらつ体操、4年ぶりに開催された「あさひ・ふるさと夏祭り」など再開を心待ちにされていた活動や行事等も多く、参加された皆様は、これまでの日常を取り戻すとともに、人と人とのつながりや地域の絆を再確認することができたのではないのでしょうか。

長野市では、支所長を地区活動支援担当に任命し、地区の活動を支援しております。令和6年におきましても、朝陽支所は地域の様々な活動に参画・支援してまいりますので、職員一同よろしくお祈り申し上げます。

本年が、朝陽地区の皆様にとって、明るく輝ける年になりますようお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

朝陽地区住民自治協議会

(事務局) 長野市北尾張部226-9
 電話・fax 026-219-1068
 ホームページ <http://asahi-jk.jp>

朝陽地区人口：14,998人(2) 6,495世帯(6)

＝2023年12月1日現在。()内は同年前月比

(内訳)	南屋島 810人(+1)	北屋島 491人(+1)	北長池 2,520人(-1)
	北尾張部 2,454人(-1)	石渡 2,597人(±0)	南堀 2,695人(+2)
	北堀 2,592人(-3)	桜新町 839人(+4)	

第30回記念 朝陽地区人権を考える住民集会「鵬程万里～歌と私と僕～」を開催

10月14日、朝陽地区人権を考える住民集会が朝陽公民館で開催され、朝陽小学校6年生児童会会長土屋智久さん及び同じく委員会委員長小林誠也さんの意見発表があり、続いて伊那市在住でシンガーソングライターの伊藤ひより氏による記念講演「鵬程万里～歌と私と僕～」がありました。

記念講演では、「私自身3歳の頃から自分は女の子だと思っていたので、女の子の物に興味を持ってきました。でも、周りの男たちは理解できなかったのでしょう。気持ちが悪いと言われ、虐められました。高校在学中でも周りの人たちの冷たい視線とか心無い言葉で苦しめられました。そんな私を支えたのは、音楽の存在です。その頃は、どうしても家族に悩みを打ち明けて、助けを求めることができませんでしたが、後で聞くと、母は全部分っていたようで、音楽に打ち込める環境を用意してくれていました。今、私があるのは家族が受け入れてくれたことだと感謝しています。

大学卒業後は、保育士として勤務することになりましたが、社会人になったことで、より一層辛い現実と向き合う事になりました。就職した時に言われたことは、男性保育士として子供に向き合って欲しいという事でした。違和感が生まれ、その時深く考えなかったのですが、保護者の方に、とても嫌そうな顔をしている人がおりました。此の人先生かな、親が不安になれば小さな子供も不安になります。そのためか中々心を開いてくれず、どの様にすればよいか分からなくなりました。それから2週間後、事件が起きました。私のクラスの保護者が、「あの先生、男なのに女みたいで、可哀しいな」と訴えてきた方がおられました。なぜ男性保育士として働けないのか。ショックで保育士を辞めようと思いました。ショックで暫く勤務ができなくなりました。幸い同僚の先生たちに支えられて、何とか3月まで子供たちと過ごすことができましたなどお話をされました。



朝陽地区ながの未来トークが開催されました。

10月7日、長野市側から市長を始め市の担当部長が、朝陽地区住民自治協議会側から各区長、部会長などが出席して、朝陽支所2階集会室でながの未来トークが開催されました。

出席者紹介の後、市長から「未来をより良くするために準備をする。又、話し合う事は大変大切なことだと思う。そして地域を良くしたいと思う中で、一方で市長と言う立場もあり、やはり市全域をしっかりと見ていかなければならない。そういう意味でバランスある街づくりを進めて行く上で、こっちが先、あっちが後、みたいな状況の中で大変心苦しいところがあり、是非そんな中でも皆さんとは、活発な議論を進めさせて頂きながら、この長野市が未来ある街となるよう一生懸命奮闘させて頂きたいと思う」と挨拶がありました。続いて朝陽地区住自協側の出席者の紹介後各区長及び各部会長から、区の役員への人材活用、公共施設の草取り、空き家問題及び総合市民センターの早期実現、朝陽小学校とその周辺環境整備などの要望、意見がありました。



防災講座「防災減災のための心の科学」

～リスク社会をいかに生きるか～

9月5日、日常生活の中での認知システム（認知・推論・記憶）の特徴的な働きを明らかにして、実生活に応用していくための研究に取り組んでいる信州大学地域防災センター長の菊池教授から「防災減災のための心の科学」と題して、講演がありました。

菊池教授から災害の被害を最小限に止めるために地域での活動が大切になってきている。その中で防災・減災のための心の科学、私たちのものの考え方をお話したいと思う。心理学は、直接的に災害を押しとどめたり、被害を拡大するのを留めたりする切り札になる訳でないが、普段行って居られる様々な防災・減災活動を底上げします。「天災は忘れた頃にやってくる」「備えあれば憂いなし」と言うことがあります。しっかりと普段から自分の地域の知識をもって自助、共助のための様々な備えをし、そしてたゆまない訓練をしておくことが大切。

そして災害時の人間の危険な認知バイアス（偏ること）の代表的なもの（正常性、楽観性、同調性及び確証）に触れられ、危険や脅威が迫っても、無視や過少評価してしまい、異常な事態でも正常な範囲と錯覚して捉える傾向にある。そのため、これをきちんと押さえた避難訓練を行ったり、防災計画を立てる必要がある。又、一般向けの防災講座では正常バイアスに因わずに、一歩先んじた行動をとる勇気を持つとういう事を申し上げることが常など講話されました。



平和を願い、戦没者等追悼式が開催されました

9月23日、令和5年度の戦没者等追悼式が朝陽地区遺族会などの関係者65名が参列し、朝陽支所2階集会室で開催されました。式典は10時から黙とうに続き、朝陽地区遺族会の長谷川幸雄会長から「先の大戦が終息してから78年の歳月が流れました。この日を迎える度、遙かな異郷の地で祖国の安全と家族の行く末を案じつつ、戦陣に散り戦禍に倒れた御遺影の皆様思いを馳せる時に今もお深い悲しみと痛惜の念が胸に禁じえません」と。続いて朝陽地区住民自治協議会竹内正男会長から「先の大戦が終わり78年もの歳月が過ぎ去ります。その間、現在に至るまでご遺族の皆様方には、片時も忘れられない日々を過ごされたこととご推察申し上げます。現在の日本は平和で心豊かな世の中を目指し、荒れてしまった国土を弛まぬ努力で現在の姿まで復興させ、一層の繁栄を目指し邁進してまいりました。その中で、祖国の行く末を案じ、家族の幸せを願いながら、戦陣に散った方々、又、国策の開拓団の一員として、北の異国で絶望の果に亡くなられた方々の命に対して哀悼の誠を捧げます。又、本日の追悼式は一功労物故者への哀悼の言葉を申し上げる場所でもあります。昭和29年、昭和の大合併で、上水内郡朝陽村も長野市へ合併となり、明治、大正、昭和に亘り、村政を担い、ご苦勞を頂き、合併に注がれました皆様方の敬意と感謝を申し上げますとともに、先人の思いを大切に、朝陽地区の更なる発展と強い地域づくりをお誓い申し上げます。又、新型コロナの拡大に伴い、厳しい生活環境となり大変なご苦勞をなされた方々もおられましょう。幸い、本年には収束が近づいてきております。地区の活動も従来通りに行われようとしております。予期せぬ出来事もあります。役員、住民一同協力の元、地区の安心、安全を目指し、住み良い朝陽を切に希望するところで御座います。終わりに朝陽地区住民を代表いたしまして、戦没者、開拓犠牲者、自治功労物故者の皆様方に再度、哀悼と感謝を申し上げます。又、併せてご列席頂きました皆様方、ご出席頂けなかった多くの同じ思いの皆様方の健康とご多幸をお祈り申し上げます。追悼の言葉と致します」と追悼の言葉がありました。



最後に参列者一人一人が献花し、式典を終えました。

声援響く区民大運動会 北堀

「第43回北堀区民大運動会」が10月8日に公民館主催で開催されました。「行事等がしほみゆく時世、そうさせたくない体育部長」を胸に、秋雨があがった早朝6時、公民館と育成会により5年ぶりの準備が開始され、各常会のブルーシートが弧を描いて敷かれ、子どもからご年配まで総勢350~400名が信大附属小学校校庭に集結する懐かしい光景となりました。11種目の競技を行い6種目は常会対抗得点競技で行われ、中でもやはり常会対抗リレーは予選と決勝ともに歓声が上がリ、大いに盛り上がりました。玉入れや借り物競争、伝言ハケツリレーなど世代を交えて楽しみ、「久しぶりに地域の方々と交流でき、幸せを感じました」と慰労会で締めのお言葉が胸々に響きました。(写真提供:写真クラブ)



4年ぶりのお神楽巡行 南堀



コロナ禍で中止になっていた秋の宵祭りが、地区住民の強い要望により、9月23日(土)4年ぶりに復活をしました。水の神様でもある槻井泉神社の宵祭りは必ず雨が降ると云われておりましたが、当日は1滴も雨が降ることなくお祭りを執り行うことが出来ました。南堀区は、東西に長い地形のためお神楽は東回り・西回りの2台組立られ午後5時より運行を始め宮町・区公民館役員宅・新築の家等を、獅子舞も同行して巡回をしました。午後9時過ぎには槻井泉神社の境内に設けられた舞台上で獅子舞を奉納して無事終わることが出来ました。今年はまだ振舞い酒などは自粛していただき少々寂しいところもありましたが、懐かしいお囃子の音色が全区に響き渡りました。

4年ぶりに体育・文化祭を開催 桜新町

桜新町では11/5実に4年ぶりの体育・文化祭が開催されました。朝からの体育の部はベタンク、人権研修会は古川人権教育推進員による講演とDVD鑑賞、午後の発表会の部はキーボード教室の合奏、ラウレアマカニフラさんによるフラダンス、桜新町民謡会による舞踊とカラオケ同好会による熱唱、飛び入り参加者もあり盛り上がりしました。また町内の桜の園さまからは常設展示物も提供いただきました。多彩な才能と種々の活動のきっかけともなる文化祭でした。後日参加者から「久しぶりの一体感を感じた」とのお言葉もいただき、公民館長も共感いたしました。こうした充実感こそ公民館活動の報酬であると再確認しました。ありがとうございました。



区民総参加の防災避難訓練 北尾張部



コロナ禍も落ち着きつつある中、区民も参加しての防災避難訓練を実施しました。久しぶりの区民総参加の防災避難訓練となり、拡声放送から避難を呼びかけ270名程が避難場所に集合しました。避難誘導に加え、役員が各班に分かれそれぞれの班にて救護搬送訓練やAED、心臓マッサージ訓練、非常食の調理や試食、消防団員との区内消火栓の点検等を実施しました。その後、全体での初期消火訓練や非常用発電機・非常用トイレの操作訓練を行い、最後に鶴賀消防署東部分署の黒岩氏より講評をいただきました。全体での実施は数年ぶりということもあり、役員も変わっている中で内容の継承や実施面での課題もみえ、有事への備えに繋がる訓練となりました。

石渡八幡神社秋の祭礼で出店 石渡

10月8日～9日、石渡八幡神社の例祭が行われました。8日の宵祭りは、4年程中断していました屋台の巡行が行われ、先発屋台は15時40分から区内の8か所の事業所を巡り、18時頃から東廻り、西廻りとそれぞれ秋葉神社を出発し、区民のそれぞれの各お宅を廻り、途中、東廻りの屋台は、5常会公園で、西廻りは庚申塔で獅子舞の披露がありました。そして廻り終えたそれぞれの屋台は、2常会の高山氏邸の前の広場で合流し、2台の屋台は揃って石渡八幡神社まで巡行し、神社で伝統の獅子舞奉納が行われました。

翌日の本祭りでは、午前には神事が行われ、午後から石渡公民館及び育成会による恒例の焼きそば、たこ焼き及び焼き鳥などの販売や小さなお子さん用にスーパーボールすくいや輪投げのゲームもありました。

販売時刻になると続々と区民の方々が詰めかけ、15分程で売り切れる品がでるなど、多くの方で賑わいました。



伊勢社の秋祭りが行われました 北屋島

10月8日と翌9日の2日間にわたり、北屋島区の伊勢社では、秋祭りが開催されました。

今年の秋祭りは、実に5年ぶりの通常開催です。氏子総代をはじめ神楽保存会と育成会が一体となって、神楽奉納と子供神輿の準備を進めてきました。

神楽奉納当日の8日は、午後5時に公会堂を出発すると早々に雨が降りだし、令和4年度の宝くじ助成事業で修復したばかりの御神楽に、ビニールシートをかぶせて町内を練り歩きましたが、例年以上の区民が足を運び盛り上がりました。子供神輿と神事が予定されていた9日も朝から雨模様。子供神輿は急遽、中止となりました。

両日もあいにくの天候でしたが、町内には久々に祭囃子が響き渡りました。



スラックライン体験会が開催されました 北長池

10月22日

北長池公民館

主催、一般社

団法人スラック

ライン推進

機構の皆様による

「スラックライン体験

会」が朝陽公

民館体育館で

開催されました。

普段中々

見る機会のない

選手の長さ

のあるパフォー

マンスや回

転に驚きや歌

声で盛り上がり

ました。今

回は育成会の協力

もありお子様の

参加が多く体験

の時間には大人

も子どもも「さ

っきより長く渡

れた」「バランス

とるのが難しい

」「どうやって

落ちないか」な

ど選手の方達と

お話ししながら

楽しく体験が

出来ました。最

後は選手の皆

さんとのジャン

ケン大会が行

われ勝ち残り

の方には選手

のサインがプ

レゼントされ

最後まで大

盛況でした。



今回は育成会の協力もありお子様の参加が多く体験の時間には大人も子どもも「さっきより長く渡れた」「バランスとるのが難しい」「どうやって落ちないか」など選手の方達とお話ししながら楽しく体験が出来ました。最後は選手の皆さんとのジャンケン大会が行われ勝ち残りの方には選手のサインがプレゼントされ最後まで大盛況でした。

子ども神輿と文化祭 南屋島



10月8日は南屋島の秋祭りでした。

昨年から3年ぶりに復活した子ども神輿は、今年も約40名の小学生が集まって元気に地区内を歩きました。心配された空模様でしたが、曇りもなく雨にも降られることなく9時から約2時間の行程を無事に終えることができました。

例年、途中からは大人の手を借りて担いでいたお神輿ですが、今年は上級生も多く参加して最後まで頑張り、ほとんど子ども達だけで回り切りました。

公民館では、これも昨年から復活した文化祭が行われ、書画や写真、俳句など区民からの作品や子供たちの研究発表などが展示されました。

特に今年は、長年公会堂(円西南)に保管されていた掛軸2点が公開され、来館者の人気を集めました。地元の歴史や、区民の趣味に触れる機会となっているこの文化祭が、これからも続いていくことを願っています。

朝陽市場「軽トラ市」及び菊芋収穫・販売が開催されました

11月3日の文化の日、この日は晴天の特異日でしょうか、今年も雲一つない秋空に恵まれ、あさひかがやき実行委員会の主催による軽トラの荷台に地元産の新鮮野菜を販売する軽トラ市と菊芋収穫及び販売が開催されました。千曲川リバーフロントガーデン特設会場と隣接する菊芋畑で午前9時から正午までと短い時間の開店でしたが、地区の方々が三々五々と来場されました。

軽トラックではりんご、ネギ、南瓜及び白菜など地元の新鮮野菜を、テントの下ではポップコーンや丸々太ったさつま芋、依託醸造の菊芋焼酎及びバルセイログッズなどが販売されました。又、開店まもなく荻原市長、西脇市議が訪れ新鮮野菜を買い求め、周りのスタッフの方々と会話も弾んで居ました。

菊芋畑では、200円でビニール袋を買い、持参したスコップで刈られた菊芋の根っこを掘り起こしながら収穫しておりました。5歳くらいのお子さんでしょうか、園芸用の小さなスコップで掘り起こしている姿が、とても愛らしく感じました。



令和5年度朝陽地区敬老会開催

朝陽地区住民自治協議会公民館部会は、令和5年度朝陽地区敬老会を9月9日(土)に長野市立朝陽公民館体育館で開催しました。新型コロナウイルス感染症のため、令和2年度から令和4年度まで敬老会は中止になりましたので、4年ぶりの開催になりました。

朝陽地区の8地区から70名の方が参加されました。

朝陽音頭が朝陽音頭保存会の皆様により披露されました。

藤雲斎龍和さんによるマジックと杉山由一さんのフルートの演奏が行われました。

最後は高野豊朝陽公民館長の音頭で万歳三唱が行われました。



防災行政無線操作訓練

8月23日、猛暑の中、防災無線操作方法の訓練が南屋島公民館を会場に行われました。

会議室において、上松安全防災部会長の「自分の身は自分で守る。地域の安全は、地域で守るを基に防災・減災の平時の取組みとして、自主防災訓練やハザードマップの周知又情報の共有などがあり、緊急時には防災無線での避難の呼びかけがあり、豪雨災害などに対し素早く対応できるよう」と挨拶があり、続いて長野市の無線業務を担当しておられる危機管理課の名川謙一郎氏から「拡声放送のしかた」、「連絡通話のしかた」及び「長野市防災アプリ」の説明がありました。なお、「長野市防災ナビ」は、防災行政無線デジタル化整備事業の一環として構築したもので、スマートフォンで防災行政無線の放送内容を確認できるほか、防災に関する情報等を確認できるそうです。

その後、外の防災無線装置で鍵の開け方、電源の確認やアンブボタン、開始チャイム、サイレン及び終了チャイムの手順・操作方法の説明を受け、拡声方法と連絡通話などを参加者が交互に体験しました。なお、区に設置してある装置の鍵は、普段区長が保管しているが、長野市内にある494局が、全て共通とのことでした。



完全個別指導塾

学研CIAスクール

対象：小学生、中学生、高校生
教科：国語、算数、数学
英語、理科、社会

学校の授業がもっとよくわかる!!
学研の個別指導塾

尾張部教室 TEL (026) 256-9131 長野市北尾張部385

自動車・火災・生命・各種保険代理店

保険のことならまかせて安心

あんしん企画

TEL 026-229-7171



読む力・考える力 伸びる学力

学研教室

幼児/算数・数学/国語/英語

学研 北尾張部教室 長野市北尾張部385 256-9131

●家具オフィスプランニング ●OA・IT ●文具サプライ



株式会社 丸陽

本社・営業部/〒386-0012 上田市中央2-5-10 TEL 0268-22-2400 FAX 0268-27-8787
長野支店/〒381-2206 長野市青木島町網島490-5 TEL 026-283-1108 FAX 026-283-8108



学校法人 理知の杜 松本国際高等学校

通信制長野学習センター

長野市北尾張部385 赤沼ビル 1F B ☎026-243-1379